

都市再生整備計画 事後評価シート
みよし市なかよし中央地区

平成29年12月

愛知県みよし市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	愛知県		市町村名	みよし市		地区名	なかよし中央地区			面積	38.2		
交付期間	平成25年度～平成29年度		事後評価実施時期	平成29年度		交付対象事業費	2,337	国費率	0.499				
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 中島地区公園整備(公園)、複合施設周辺サイン(地域生活基盤施設(情報板))、(仮)地域交流センター(高次都市施設(地域交流センター)) (仮)図書館(地域創造支援事業)										
	当初計画から削除した		基幹事業		-		削除/追加の理由		-				
	新たに追加した事業		基幹事業		(仮)情報のみち整備事業(高質空間形成施設(カラー舗装))		文化、情報発信、交流拠点となる図書館と地域交流センターを併設した複合施設と隣接する各種公共施設のアクセスを担うルートとして位置付けられるため、関連事業から基幹事業へと変更する。		影響なし。				
			基幹事業		図書館(地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設))		文化、情報発信、交流拠点となる図書館と地域交流センターを併設した複合施設を市役所駐車場内に建設することで施設の更新と機能の増強を図り、今まで交流する機会の乏しかった市内3地区の市民交流を盛んにし、中心拠点区域の賑わいを創出する施設として、提案事業から基幹事業へと変更する。		(指標2)市民一人当たりの図書利用冊数に関わるため、目標値を6.7冊/人から6.9冊/人へ変更して対応した。				
	交付期間の変更		当初		平成25年度～平成29年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-				
			変更		なし								
2)都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
								モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	指標1	交流施設の利用者数	人/年	47,355	H25	50,559	H29	-	65,423	○	あり	(仮)地域交流センターの整備により、文化、学習、交流に関して高度化、多様化した市民ニーズへの対応が可能となるとともに、複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、利便性が向上した。この結果、(仮)地域交流センターの利用者が増加し、目標達成へとつながった。	平成30年4月
	指標2	市民一人当たりの図書利用冊数	冊/人	5.7	H25	6.9	H29	-	6.4	△	あり	● 複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、図書館利用の利便性が向上した結果、図書館利用冊数が整備前に比べ、2倍以上に増加している。一方、図書の1人当たりの貸出冊数の見直しや新刊の収蔵数が少なくなったことの影響から目標値を下回る結果となった。	平成30年4月
	指標3	さんさんバス利用者数	人/年	6,180	H25	6,580	H29	-	13,465	○	あり	(仮)地域交流センター及び図書館の整備により、市役所付近に市民が安全に、また、安心して交流出来る拠点が整備された。また、バス停の集約により利便性の向上が図られた。これにより、施設に隣接するさんさんバス「市役所西バス停」の利用者数増加につながった。	平成30年4月
指標4	市内の1人当たりの公園面積	m ² /人	12.4	H25	12.9	H29	-	14.5	○	あり	公園が計画的に整備されたことで、市民が安全で安心して活用出来る施設が増加した。このため、1人当たりの公園面積の実績値が評価値を上回る結果となった。	-	
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		単位	従前値	基準年度	目標値	目標年度	数値		目標	1年以内の	効果発現要因	フォローアップ
								モニタリング	評価値	達成度	達成見込み	(総合所見)	予定時期
	その他の数値指標1	おはなし会・講座などの催し物の満足度	%	82.1	H25				91.8 (H28)			満足度が上昇しており、施設整備による効果の発現がみられる。	-
	その他の数値指標2	全体の満足度	%	88.7	H25				90.2 (H28)			図書館利用者の満足度がが高く、また88.7%から90.2%に増加しており、施設整備による効果の発現がみられる。	-
	その他の数値指標3	図書館利用者数	千人/年	110.9	H25				274.5 (H29)			図書館利用者数が2倍以上に増加し、施設整備による効果の発現がみられる。	-
	その他の数値指標4	来館のしやすさの満足度	%	83.3	H25				86.1 (H28)			満足度が上昇しており、施設整備による効果の発現がみられる。	-
	その他の数値指標5	緑豊かで快適な美しいまちづくりの満足度	%	68.7	H25				70.6 (H27)			満足度が上昇しており、公園整備による効果の発現がみられる。	-
その他の数値指標6	生活環境の確保の満足度	%	62.0	H25				66.9 (H27)			満足度が上昇しており、公園整備による効果の発現がみられる。	-	
4)定性的な効果発現状況	・(仮)地域交流センター(図書館学習交流プラザ「サンライブ」)では、旧図書館より閲覧スペースが大幅に増えたことで、図書館内で本を閲覧する利用者が多く見られるようになった。 ・市役所西バス停が一つに統合されたことにより、バス停間の移動がなくなり、安全性が向上した。												
5)実施過程の評価	実施内容		実施状況									今後の対応方針等	
	モニタリング	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた								-
	住民参加プロセス	○(仮称)みよし市図書館学習交流プラザ愛称募集 ○図書館学習交流プラザ「サンライブ」内覧会の開催			都市再生整備計画に記載し、実施できた								○
持続的なまちづくり体制の構築	なし			都市再生整備計画に記載し、実施できた								-	

様式2-2 地区の概要

みよし市なかよし中央地区(愛知県みよし市) 都市再生整備計画事業の成果概要											
まちづくりの目標		目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値			
「市民が気軽に集い交流できる魅力ある中心市街地の構築」 ・文化・学習・交流をキーワードとした誰でも利用できる情報拠点を中心としたにぎわいと魅力あるまちづくり ・市民が気軽に集うことができる安心安全な交流・活動の機会を創出 ・都市中枢機能が集約した、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくり		交流施設の利用者数	単位:人/年	47,355	H25	50,559	H29	65,423	H29		
		市民一人当たりの図書利用冊数	単位:冊/人	5.7	H25	6.9	H29	6.4	H29		
		さんさんバス利用者数	単位:人/年	6,180	H25	6,580	H29	13,465	H28		
		市内の1人当たりの公園面積	単位:m ² /人	12.4	H25	12.9	H29	14.5	H28		
■基幹事業 地方都市リノベーション推進施設(教育文化施設):図書館 		 <p>凡例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 基幹事業 ■ 関連事業 ■ 中心拠点区域 ■ 都市再生整備計画区域 		■基幹事業 高質空間形成施設(カラー舗装): (仮)情報のみち整備事業 		○関連事業 前田緑道整備事業 		○関連事業 (仮)駐車場整備事業 			
■基幹事業 地域生活基盤施設(情報板)(地方都市リノベーション事業):複合施設周辺サイン 				■基幹事業 公園:中島地区公園整備 		○関連事業 (仮)子ども総合支援センター 					
■基幹事業 高次都市施設(地域交流センター)(地方都市リノベーション事業):(仮)地域交流センター 											
まちの課題の変化											
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)											

○達成されたこと

- ・図書館、生涯学習、公民館、交流機能の更新により、4つの機能を集約したことで、文化、学習、情報発信の拠点が確保され、今まで交流の少なかった市内3地区の市民交流の活性化に寄与した。
- ・市役所をはじめ、三好公園などの周辺施設と中心拠点との連携ができ、ネットワークの良善性が向上した。
- ・中心市街地の老朽化した施設の更新が図られ、旧図書館を(仮)子ども総合支援センターとして既存ストックを有効活用し、子育てに関する相談窓口、親子で遊べるふれあい広場、ファミリーサポートセンターを移転させることで、子育てをサポートする拠点が確保された。
- ・「市役所西バス停」を施設に併設させて1箇所に統合することで、安全性及び利便性が向上した。
- ・市役所付近を中心として、図書館、(仮)地域交流センター、(仮)子ども総合支援センター、公園の整備をはじめ、都市中枢機能の集約・更新が図られた。また、災害時の防災副拠点として市役所との連携を図ることができるように複合施設周辺サインや(仮)情報のみち整備事業により、隣接する市役所駐車場の利用ができることから、(仮)地域交流センター及び図書館利用時の利便性が向上した。
- ・公園が計画的に整備されたことで、近隣住民が安心して使用できる施設が確保された。

●事業後に残された課題

- ・図書館の利用者数、貸出冊数は増加しているものの、今後も図書館の利用促進を図るための企画立案を始め、情報提供など、各種対策が求められる。

●新たな課題

- ・整備された拠点施設や緑道等の利用促進を今後も図ることが求められる。
- ・生涯学習講座の充実や(仮)地域交流センターを活用する新たな企画などの立案により、施設の利用促進を図ることが求められる。
- ・安全・安心な公共施設を維持するため、適切な施設の管理・運営が求められる。
- ・さらなる市民間交流のための、バス等の交通網のアクセス環境の維持・改善を図ることが求められる。
- ・中心市街地のにぎわいが創出されることで、施設を利用する歩行者・自転車や駐車場に出入りする車両が増加するため、安全の確保が求められる。
- ・土地の高度利用や既存市街地の整備を促進し、さらなる活力にある中心市街地を形成する。

○今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

- ・図書館や(仮)地域交流センターの利用促進を図るための企画の立案や各種情報の提供を推進する。
- ・安全・安心な施設を維持するため、定期的な点検や早期修繕を行う。
- ・中心市街地への来訪を促すため、公共交通の維持・充実、中心市街地と周辺施設との連携に更なる利用促進を図る。
- ・コンパクトなまちづくりの観点から、賑わいの創出や、歩行者・自転車の安全確保や安全対策を推進する。